

新シリーズ

精神科診断別 心理面接とセルフケアの基礎Ⅱ

精神科診断別の心理面接とセルフケアの基礎Ⅱでは、精神科診断に限らず、患者/クライアントのアセスメントに役立つパーソナリティスタイル理論の基礎を学びます。

パーソナリティスタイルは、小谷（1993）が DSM 診断のパーソナリティ障害をまとめた Millon, T.および Kernberg, O.の理論を基礎に、Choca, J. にならい、積極的に使える機能理論として臨床実践に使い、システムズ理論を用いて再構成し、精神分析的システムズ理論（PAS 理論）に組み込んだものです。

たとえば、好き、嫌いを軸とする人、正しい、間違っているを軸とする人、損か、得かを軸にする人。通常、私たちはその場面、場面で、そのそれぞれの軸を使い分けながら生きています。これらの軸はそれぞれ、あるパーソナリティスタイルを反映しています。

臨床場面で出会う人たちは、みんなそれぞれパーソナリティスタイルの特徴を有しています。パーソナリティスタイルの理解は、その出会う人たちの理解につながります。

まずは、パーソナリティ査定横軸ともいえるパーソナリティスタイルの基礎を学びましょう。その上で、身体表現障害・解離性障害としてのヒステリー、統合失調スペクトラム障害、強迫性障害を診断別に理解し、心理面接とセルフケアの基礎を学んでいきます。

講師 能 幸夫

(心理療法家 資格：臨床心理士,公認心理師,精神保健福祉士)

日時

2023/6/2（日）スタート 各回 9：30～16：30

●6/2, 8/4, 10/6, 12/1 の計 4 回

原則隔月第 1 日曜 9:30-16:30

会場 PAS 心理教育研究所（京王井の頭線 駒場東大前駅西口より徒歩 5 分）

〒153-0041 東京都目黒区駒場 2-8-9 ※1 台分駐車場あり

受講料

●単発受講 17,000 円（税込） ●年間受講 54,400 円（税込）※2 割引

対象

公認心理師、臨床心理士、PAS セラピスト、ソーシャルワーカー、精神科医、精神看護師、CNS、スクールカウンセラー、学生相談カウンセラーなど対人援助専門職等

お申込方法

申込用紙に必要事項をご記入のうえ、メール・FAX または郵送にて下記の申込先までお送りください。

〒153-0041 東京都目黒区駒場 2-8-9 電話・Fax 03-6407-8201（平日 14 時～18 時）

ウェブサイト：<https://www.pas-ins.com> Twitter (X) :@PAS_fun2020

WSのご案内

精神科診断と心理査定およびソーシャルワークによる個別援助計画におけるアセスメントはそれぞれ異なります。ワークショップでは、アセスメントの基軸のひとつとなる人格機能・構造の理解のためのパーソナリティスタイル理論を学び、神経症の代表としてのヒステリーと強迫神経症および精神病の代表としての統合失調症の基本病理を学んでいきます。パーソナリティスタイルを理解していくことは、心理職のみならず、ソーシャルワーカー、看護師などの対人援助職にとって意味ある学びとなります。

初心から中堅・ベテランまで、それぞれの関心のところから、次の一歩を目指して、共に学んでいきましょう。

各回のテーマ

第1回（2023/6/2）： パーソナリティスタイルの基礎理論

◇テーマ：「パーソナリティスタイルの基礎」「パーソナリティ障害とは」

パーソナリティスタイル理論を構成する、各スタイルの対人関係のありよう、情緒的特徴、認知的特徴としての世界観を学び、面接での留意点を理解していきます。

*対人援助専門職におけるクライアント、患者、家族のパーソナリティ理解に役立ちます。

第2回（2023/8/4）： 身体表現性障害・解離性障害；ヒステリーの理解と心理療法の基礎技法

◇テーマ：「転換・解離と抑圧されたものの回帰の力動」「ヒステリーの理解」

かつてヒステリーとしてまとめられていたものは、症状診断重視のDSM診断によって、身体表現性障害、解離性障害などに分けられています。転換、解離の機制と、ヒステリーの主要防衛としての抑圧および症状形成に関わる抑圧されたものの回帰の力動について学びます。

第3回（2023/10/6）： 精神病、特に統合失調症スペクトラム障害の理解とそのセルフケア

◇テーマ：「幻覚・妄想と体質的敏感性的基本力動」「統合失調症の理解」

統合失調症の幻覚、妄想といった症状は、奇異ではありますが、精神分析的には意味があります。病理の前提には体質的脆弱性としての過剰な敏感性が想定されています。その前提を踏まえ、改めて統合失調症の理解を深め、統合失調症患者に対するセルフケアのコツをつかんでみましょう。

*精神保健福祉士、ソーシャルワーカー、看護師はセルフケアの基礎を理解できます。

第4回（2023/12/1）： 強迫性障害；強迫神経症の理解と心理面接の基礎技法

◇テーマ：「置き換え・打ち消しと反動形成の基本力動」「強迫神経症の理解」

本人自身も非合理的だと思っている強迫観念や強迫症状はどのような力動によって生じているのでしょうか。置き換え・打消しと反動形成の力動理解を通じて、強迫神経症の症状形成の力動を学び、面接のコツをつかんでいきましょう。